

第 118 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2023 年 9 月 20 日（水） 10:00～12:00

2. 場 所：オンライン会議（Zoom）

3. 出席者（役職順／所属順、敬称略）

出席者 議長：吉開 範章、
幹事：木下 宏揚、横山 真吾、鎌田 潤一、
委員：皆川 勝、塩原 亮一、中野智仁、夏目 賢一、鈴木 賢太
アドバイザー：三木 哲也、札野 順
事務局：木暮 賢司

議題

- ① 前回議事録(案)について(審議)
- ② 公開シンポジウムの議題について(資料無し)
- ③ 会員学協会活動報告について(報告)
- ④ 次回以降協議会日程について(審議)(資料無し)

5. 議事

- ① 公開シンポジウムに向けての委員からの意見、及び開催趣旨とプログラム案について意見交換を行った。
- ② 次回第119回以降協議会日程について（審議）（資料なし）
 - ・ 第119回：2023年10月16日（月）
 - *時間：10:00 ～ 11:30
 - *場所：Zoom

第 118 回技術倫理協議会（2023 年 9 月 20 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	9 月 15 日（金）、理工学分科会が開催された。 1. ワーキンググループごとに、倫理教材の新單元について、査読・執筆・内容検討を進めている。 1) 完成された新單元「人工知能に関する倫理とガバナンス」が 9 月 29 日に公開される。 2) 既存單元「情報技術に関する倫理」について情報技術の研究・開発に関わる受講者を対象としている。一方、IT を利活用する幅広い受講者に求められる情報倫理を主な内容とする新單元「情報倫理」の作成を検討している。APRIN 全体として生成 AI を含む人工知能に関する方針が検討されつつあるのでその動向を見て引き続き必要な検討を進める。 3) 新單元「機微技術の管理」について、内容及び査読者を決定し、全体主義国家の戦略やそれに協力するリスクなどに関する執筆を先行して進めている。基本的な知識、歴史的経緯、現在の状況を含め、幅広い受講者層をターゲットとした内容にするべく、執筆を進める。 4) 新單元「農学分野の技術者倫理」について、農学分野における技術者倫理の特徴、生命倫理・環境倫理との関連性、営業秘密の保護などを内容とする原案が紹介された。より具体的な章立て作成や執筆者選定へと進める。 2. 2 月 16 日開催の 2023 年度全国公正研究推進会議で開催する理工学分科会について、テーマを「教育研究機関及び企業における生成 AI 活用の課題」とし、教材「AI の倫理とガバナンス」の紹介、大学あるいは産業における生成 AI 利用の課題等に関する講演を行うこととした。
2	電気学会	・ 8/31 に「技術者倫理事例集第 3 集 WG」を開催し、頁数の見通しや工程等について議論 ・ 9/28 に「第 71 回倫理委員会」を開催予定
3	電子情報通信学会	技術と社会・倫理研究会において生成系 AI に関する会長声明草案起草時の議論を取りまとめて 11 月研究会で発表 同研究会専門委員の芳賀高洋先生がソサイエティ誌のベストオーサー賞を授賞
4	土木学会	この期間での活動はありませんでした。
5	日本化学会	
6	日本機械学会	9月3日（日）、機械学会大会併設市民フォーラムを主催。無意識のバイアスに気づき、なくすためにいま何ができるのか？ージェンダー平等社会を目指してー。日常的に疑問に持たずにイメージする学会の目標、会員の研究技術開発の目標そのものについてもジェンダー平等の視点が必要課との展開があり、有意義であった。
7	日本技術士会	日本技術士会で第 1 回倫理委員会を 8/31 に開催した。綱領小委員会、啓発小委員会、情報小委員会の 3 つの小委員会に委員の配属を決定し、倫理委員会の活動内容を説明した。また、講演依頼などの情報を展開した。

	学協会名	報告概要
8	日本原子力学会	・ 9/8 に 2023 秋の大会（名古屋大学東山：9/6～8）において企画セッションを開催 2023 秋の大会（名古屋大学東山：9/6～8）における企画セッション「よりよい組織文化醸成のため～心理的安全性について考える～」において組織における心理的安全性について倫理学の視点から議論を行った。 具体的には。組織の風通しのよさが組織文化の醸成に必要不可欠であると考えられており、すなわち、「率直に何でも言い合える」「非難されない」という心理的安全性を有することが安全文化を醸成するために必要不可欠な組織文化のひとつと考えられている。心理的安全性を持った組織とするために、心理的安全性が確保されていない組織はどのような状態に陥るのか、心理的安全性を確保するために、さまざまな立場の構成員がどのような言動をすべきか、心理的安全性について倫理学の観点から考究した。 ・ 倫理規程を改訂する検討を開始した。 ・ 2024 春の年会における企画セッションについて、研究機関の安全文化をテーマとすることとして検討を開始した。
9	日本建築学会	活動無し
10	日本工学教育協会	・ 第 71 回年次大会・研究講演会におけるオーガナイズドセッション開催（2023/9/8） ・ 調査研究活動「社会の福利を志向する技術者育成（ポジティブエンジニアリング教育）の可能性の検討」（2022/10～2023/9）に取り組んでおり、現在はエキスパートパネルを選出して第 1 回評価を実施中（9/8 に開催し、委員会活動についても調整） ・ 今年度のワークショップ開催を準備中（12/2 東京にて開催予定、オンライン参加可の予定） ・ 学協会誌『工学教育』の小特集にて本委員会の活動報告の掲載を検討
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	